

# 南あわじ市 農業委員会だより



～かけがえのない農地と担い手を守り、力強い農業を作る「かけ橋」～

## 第21号

令和5年9月発行

編集・発行 南あわじ市農業委員会

〒656-0492

南あわじ市市善光寺22番地1

TEL.(0799)43-5236

FAX.(0799)43-5336

### 農業委員・農地利用最適化推進委員が決まりました

任期：令和5年8月1日～令和8年7月31日まで



## 会長就任のご挨拶



南あわじ市農業委員会

会長 宇山 昭彦

うやま あきひこ

南あわじ市にお住まいの皆様、農業従事者の方々におかれましては、残暑お見舞い申し上げます。健康に留意されて日々ご活躍されております事に敬意と尊敬の念に堪えません。

さて、本年8月1日の初総会において、第7期目の農業委員19名、農地利用最適化推進委員35名が選任され、令和8年7月未までの任期で活動を開始しております。

その中で小職ではございますが、第7期南あわじ市農業委員長を拝命することになりました。これまでの農業委員会活動はもとより54名の各委員の力を結集して、農業従事者の皆様を支えられる活動を行ってまいります。

最近の農業は1次産業の中でも日々厳しさが増しており、農業従事者の高齢化や後継者不足の問題が現実には直面している中、一方で新規就農者が少ないながらも毎年出てきており、うれしい話題の一つです。

本年4月の改正農地法の施行により、農地の権利移動(3条)に対する下限面積要件が廃止さ

れた事により、農業経営への参入がしやすくなり、意欲のある方の新規参入を期待しております。農業委員会は市の行政機関として設置される行政委員会として定義されており、農地法、農業経営基盤強化促進法等の法律に基づき、かけがえのない農地と担い手を守る活動を合言葉に各委員が担当地域に入り相談等の支援を行ってまいります。

最後に、農家とともに明るく楽しい農業をめざして活動ができる農業委員会となるよう取り組んで行く所存ですので、より一層のご支援・ご協力をお願い申し上げます。

### 申請書等審議日程

南あわじ市農業委員会では、毎月次の日程により申請書等の受付、審議、許可を行います。申請についてのご相談は、お早めに願います。

☆申請書等受付締切

毎月5日

☆総会 毎月20日

(開庁日の場合は翌開庁日)

# 新しい農業委員




















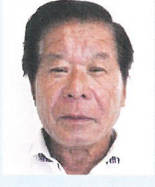
申請目的によって担当委員が異なります。ご注意ください!

## 担当区域①

- ・農地法第3条申請(農地等の権利移動)
- ・農地法第4条申請(農地の転用)
- ・農地法第5条申請(農地等の転用のための権利移動)
- ・農地等の買受適格証明交付申請
- ・農地改良による一時転用の届出
- ・非農地証明願
- ・現況証明願
- ・農業用施設等の届出
- ・贈与税、相続税の納税猶予に関する適格証明願
- ・引き続き農業経営を行っている旨の証明
- ・農地に関する相談、地域計画策定への支援

## 担当区域②

- ・農用地利用集積計画書利用権設定
- ・農地等の賃貸借合意解約の通知書
- ・農地等の使用貸借に係る土地引き渡し報告書
- ・耕作放棄地の発生防止、解消  
(利用状況調査、農地パトロール、農地利用意向調査等)
- ・農地利用の最適化の推進活動(農地バンク等)
- ・法人化その他農業経営の合理化  
(法人化、農業者年金、家族経営協定等)に関する業務等
- ・農業一般に関する調査及び情報提供  
(全国農業新聞の普及推進等)に関する業務
- ・農地に関する相談、地域計画策定への支援

 <p>②福井 ①鍛冶屋、野田、牛内、東山、生子、高萩、福井、福井北</p> <p><b>南淡地区協議会会長</b> 正木 正年</p>	 <p>②高 ①上幡多、山所、掃守、倭文(三原)全域</p> <p>藤原 一雄</p>	 <p>②湊(登立以外)全域 ①湊(登立以外)全域</p> <p>西淡地区協議会会長 森光男</p>	 <p>②土井 ①神道、庄田、土井、安住寺</p> <p>緑地区協議会会長 井上 重光</p>
 <p>②八幡西 ①賀集、八幡、東西南中北、立川瀬、西田、辻川原</p> <p>女性委員代表 山本 真由美</p>	 <p>②大榎列 ①大榎列、小榎列、西川、下幡多、松田</p> <p>真野 博司</p>	 <p>②中島大 ①志知(三原)全域</p> <p>三原地区協議会会長 榎本 繁秋</p>	 <p>①長田</p> <p>堤 栄伸</p>
 <p>①津井全域</p> <p>農業委員会長職務代理者 三原 賀代子</p>	 <p>②国分 ①入田、養宜中、養宜上、鳥井、立石、国分、新庄、野原、徳野</p> <p>真野 文夫</p>	 <p>②国上 ①神代全域</p> <p>賀集 昭雄</p>	 <p>②登立 ①登立</p> <p>姥谷 光代</p>
 <p>②広田上、広田南、徳原、中山 ①広田全域</p> <p>農業委員会会長 宇山 昭彦</p>	 <p>②塩屋町 ①阿万、灘、沼島全域</p> <p>岩崎 俊治</p>	 <p>②福永 ①市全域</p> <p>喜田 富和</p>	 <p>②伊加利全域 ①阿那賀、伊加利、志知(西淡)全域</p> <p>馬野 誠</p>
	 <p>②新田北 ①潮美台、北阿万、福良全域</p> <p>中川 勝喜</p>	 <p>②大久保 ①馬回寺内、大久保</p> <p>高田 祐佳</p>	 <p>②北方 ①松帆全域</p> <p>濱田 勝美</p>

# 新しい農地利用最適化推進委員

緑地区協議会副会長

**大上 宣和**  
 ②山添、川向、中田、大丸、川向岡地、川向岡地、みどりが丘



**太田 利数**  
 ②神道、安住寺



**糸川 貴文**  
 ②市場、不藤、中筋、堂丸団地、県住緑広田



**平池 秀幸**  
 ②長田、庄田



**亀井 良司**  
 ②志知川、西路



**倉本 英城**  
 ②慶野、北浜、樺田、宝明寺



**鴻原 芳明**  
 ②阿那賀全域



**庄司 文治**  
 ②津井全域



**仲田 雅幸**  
 ②志知(西淡)全域



**安富 富保**  
 西淡地区協議会副会長  
 ②高屋、脇田、戒目寺



**油本 浩昭**  
 ②古津路、塩浜、江尻



**白川 彰洋**  
 ②城家、小路



**杉本 明義**  
 ②小榎列、西川



**武田 昌起**  
 ②入田、養宜中、養宜上



**田村 覚**  
 ②鳥井、立石



**堤 省司**  
 ②馬回寺内



**土井 勝二**  
 ②社家、久保、段、上中原、浦壁



**豊田 恵**  
 ②市十一ヶ所、徳長、新三條



**豊原 庄二**  
 ②松本、佐礼尾、難波、中島下、中島上



**廣内 隆夫**  
 ②下幡多、松田



**藤江 均**  
 三原地区協議会副会長  
 ②黒道、喜米、富田、籠池、北所、南上、経所、南所



**堀井 正弘**  
 ②青木、円行寺、小井、善光寺



**堀川 順史**  
 ②新庄、野原、徳野



**松下 琢真**  
 ②上幡多、山所、掃守



**水越 政義**  
 ②流、委文



**阿部 洋祐**  
 ②中西、吹上町



**井上 成一郎**  
 ②潮美台、福良全域



**奥村 直仁**  
 ②灘、沼島全域



南淡地区協議会副会長  
**金一 輝彦**  
 ②上町、下町、佐野



**木本 智也**  
 ②西町、東町、丸田



**肥田 栄彦**  
 ②八幡(西以外)、立川瀬、西田、辻川原



**名主川 明展**  
 ②鍛冶屋、賀集



**増田 吉彦**  
 ②新田中、筒井、高原



**三谷 祐司**  
 ②稲田南、伊賀野



**南 幸正**  
 ②野田、牛内、東山、生子、高秋、福井北



# 農地の取得要件であった 下限面積が撤廃されました！

令和5年4月1日から農地の取得要件のひとつであった、下限面積が撤廃されました。

## 【要件撤廃について】

農地を取得するにあたり、農地を取得する方、またはその世帯員等が耕作する農地の面積の合計が各市町村の定める面積以上であるという下限面積の要件がありました。

南あわじ市では、農地の権利移動には耕作する面積が50a(灘・福良・沼島地区は30a)を満たす必要がありました。令和5年4月1日の農地法の改正に伴い、下限面積の要件が撤廃され、耕作面積に関わらず農地を取得することが可能となりました。ただし、その他の要件は引き続き満たす必要があります。

## 【農地法3条の主な許可要件】

- ① 権利移動の目的が耕作であること
- ② 権利を取得しようとする人、またはその世帯員等が農作業に常時従事する(原則年間150日以上)と認められること
- ③ 世帯員等で所有している農地、借り入れた農地又は申請地を含め、そのすべてを効率的に利用し耕作を行うとみとめられるもの
- ④ 申請地の周辺の農地利用に影響を与えないこと

※詳しいお手続きは  
農業委員会事務局まで



# 農業者年金に加入しませんか

長生きをマイナスにしたくない。  
農業者のための年金が  
あるなら入りたいと思う。

## 農業者年金



### 8つのメリット

- 農業者は広く加入できる
- 終身年金。
- 老後を最後までサポート
- 全額社会保険料控除で大きな節税効果
- 保険料が自分で選べて、いつでも見直せる
- 条件を満たせば、月額最大1万円の国庫補助
- 少子高齢時代に強い積立方式、確定拠出型の年金



### ●問合せ先

南あわじ市農業委員会事務局  
〒65610492  
南あわじ市市善光寺22番地1  
(電話) 079914315236

詳しくは… 農業者年金基金 検索 <https://www.nounen.go.jp/>

農業者年金の内容やご報酬については、最寄りの農業者年金センターまたは農業者年金基金にお問い合わせください。

独立行政法人 農業者年金基金

TEL 03-3502-3199 (専門相談員)

TEL 03-3502-3942 (企画調整室)

